

インフルエンザウイルスの 感染力を99.9%低減する 「無添加住宅オリジナルしつくい」

このたび、建材販売業の株式会社無添加住宅（代表者：秋田憲司 西宮市）が開発・製造・販売している「無添加住宅オリジナルしつくい」に、昨今、大流行が懸念される高病原性鳥インフルエンザの感染力を低減させる作用があることがNPO法人バイオメディカルサイエンス研究会 習志野実験室にて確認できました。

当社のオリジナルしつくいも
石灰と同じ成分。
きっかけは鳥インフルエンザ。

今回のきっかけは、鳥インフルエンザの発生した養鶏場に石灰が撒かれたというニュースを見て、同じ成分でできた当社オリジナルしつくいにて検査したところ、今回の結果が得られたというものです。今回の検査で使用したウイルスの種類はA香港型（H3N2）ですが、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1）もウイルスに対する効果（直接作用）は同じであるとウイルス学の研究者の間では常識とされています。（BMSA習志野実験室）



NPO法人バイオメディカルサイエンス研究会 習志野実験室で行われたウイルス塗布実験の様子

当社オリジナルしつくいに、
ウイルスを付着させて
実験を行いました。



無添加住宅開発者
(株)無添加住宅 代表取締役社長
秋田 憲司

今回の検査では、当社オリジナルしつくいにウイルスを付着させて検査しています。ウイルスは付着直後から不活化し、感染価は急激に減退しました。回収できたウイルスが0.033%未満で99.967%低減しました。検査開始15分後では更に顕著で、回収できたウイルスが0.000588%未満で、99.999%の低減となりました。しつくいの解毒作用でウイルスが死滅したのか、しつくいに吸着されてしまったのかは立証できませんが、不活化して感染力が低減されることは間違いのない事実という結果がこの度確認できました。

「無添加住宅オリジナルしつくい」の
抗インフルエンザウイルス効果

